

Aesculap Neurosurgery

KAIRison

ケアリソン気動式骨パンチ



Technology that makes life easier.

KAIRISON® Pneumatic Bone Punch

Technology that makes life easier.

ケアリソン気動式骨パンチ



脊椎外科手術においては、除圧処置の際に相当な負担が術者にかかります。これまで、脊椎外科手術における術者への手や関節、腕への負担は当たり前のように思われてきましたが、技術の進歩により開発された「気動式骨パンチ」により、術者の負担を軽減することができます。

特徴

▶ 取り扱いが簡単

使い慣れるまでに時間を要しません。

▶ 術者の負担を軽減

力を必要としない為、利き手でない手でも使用することができます。

▶ 安全機構による信頼性

誤作動を防ぐ安全ボタン・ロックレバーがあります。

▶ エルゴノミックデザイン

バランスのとれたシステムのため、術者への負担を最小限にしています。



開発Dr.:
Prof. Fabrizio Caroli
Dr. Laura Raus



Dr. Joseph Maroon,
UPMC, Pittsburgh, PA, USA

“エースクラップの気動式ケアリソンによって外科医としての寿命が延びた！ケアリソン気動式骨パンチは脊椎外科医にとっては欠かせないツールだ”





ロックボタン



簡単にかつスピーディにシャフトを取り外すことができます。

ロックレバー



術中、シースの骨くずを除去する際、安全のため、レバーを引き骨パンチが作動しないようにします。

作動レバー



2段階コントロール：
作動レバーに軽い力を加えると、骨パンチが作動しますが、抵抗がかかると作動が止まります。骨を切除する場合には、作動レバーを最大まで握りこみます。

安全ボタン



ONにすると骨パンチが作動する状態に、OFFにすると骨パンチが作動しない状態になります。このボタンにより、誤作動を避けることができます。

圧縮空気供給コネクター

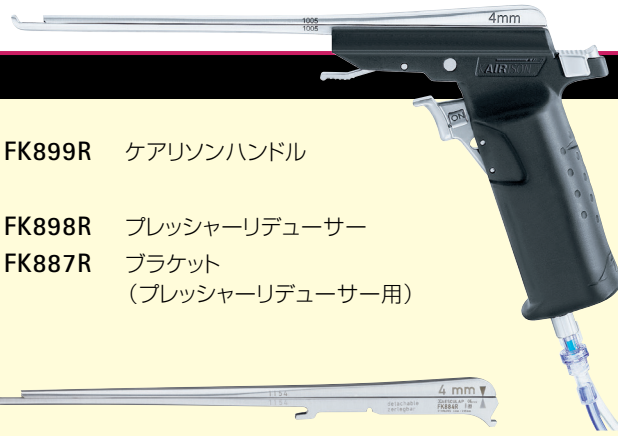


手術室壁の圧縮空気供給口へ接続します。

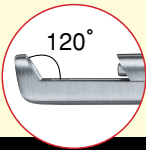
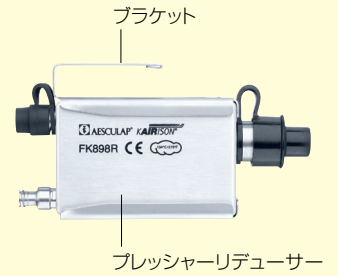


KAIRISON®

製品ラインナップ



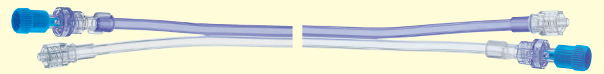
- FK899R ケアリソンハンドル
- FK898R プレッシャーリデューサー
- FK887R ブラケット
(プレッシャーリデューサー用)



全長	品番	先端サイズ	有効長	開き巾	イジェクター
235 mm	FK882R	2 mm	140 mm	12 mm	✓
	FK883R	3 mm	140 mm	12 mm	✓
	FK884R	4 mm	140 mm	12 mm	✓
	FK885R	5 mm	140 mm	12 mm	✓
	FK886R	6 mm	140 mm	12 mm	✓
	285 mm	FK892R	2 mm	190 mm	12 mm
FK893R		3 mm	190 mm	12 mm	✓
FK894R		4 mm	190 mm	12 mm	✓
FK895R		5 mm	190 mm	12 mm	✓
FK896R		6 mm	190 mm	12 mm	✓

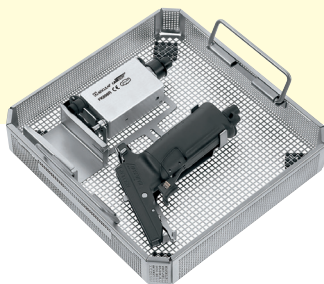
FK888SU

ケアリソンディスプレイブルチューブ(3m)
滅菌済、1箱(10個入り)



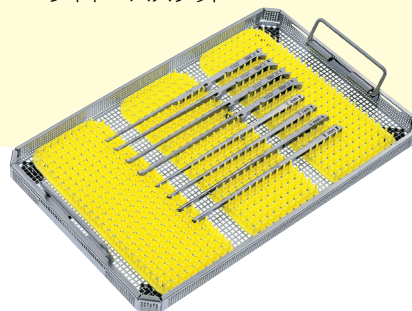
FK881R

ケアリソンワイヤーバスケット



FK891R

ケアリソンシャフト用
ワイヤーバスケット



GA468

エアホース
シュレーダータイプ
5m





使用前の 3 Steps



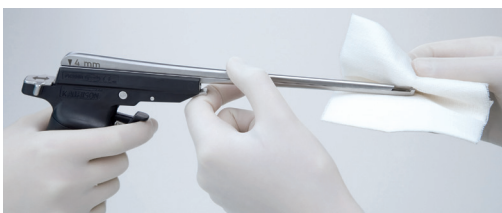
- 1** 専用エアホースを圧縮空気もしくは圧縮窒素供給口へ接続してください。
エアホースをプレッシャーリデューサーに接続します。
ディスプレイチューブをプレッシャーリデューサーに接続します。
ディスプレイチューブをハンドルに接続します。
*供給用チューブと排気用のチューブが誤って逆に接続されないようにコネクター口の形状をかえています。



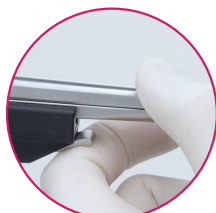
- 2** 上下のシース(シャフト)の位置が正しいか確認しフックをハンドルに装着します。
シース(シャフト)を矢印の方向へ傾け向けていくとカチッと音がしてハンドルに装着されます。



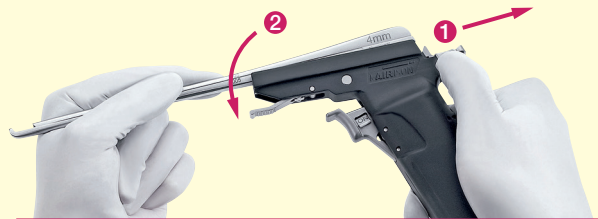
- 3** スイッチをONにします。ONにすると骨パンチが作動する状態になります。
*術中、シース(シャフト)から骨くずを除去する際は安全レバー(ロックingleバー)を引いてシース(シャフト)がスライドしないようにして下さい。



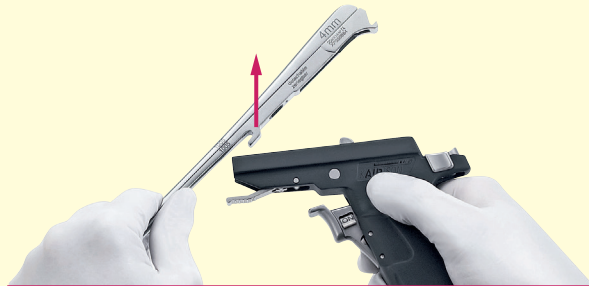
シースの骨くずを除去する際、ロックingleバーを引き、骨パンチが作動しないようにします。



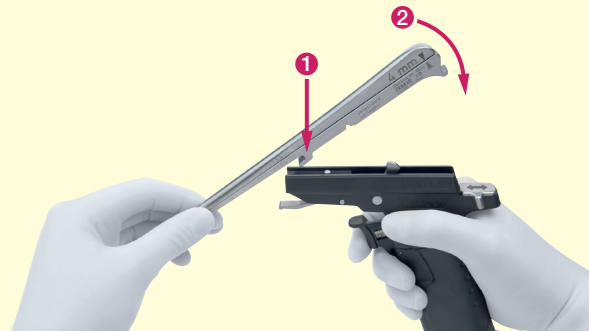
シャフトの取り付け・取り外し 3 Steps



- 1** ロックボタンを①の方向へ引き、シース(シャフト)を②の方向へ倒しリリースします。



- 2** シース(シャフト)をハンドルのフックより外します。



- 3** シース(シャフト)を①ハンドルのフックに掛けます。
②の方向へシャフトを倒しハンドルへ押し込むとカチッと音がしてシャフトが固定されます。

文献

Joseph C. Maroon, MD, Matt El-Kadi, MD, PhD, Jeffrey Bost, PA-C
Pneumatic Kerrison rongeur: technical note (Surgical Neurology 2009)



AESCULAP®

AESCULAP® - a B. Braun brand

承認番号:13B1X00218139027 販売名:KAIRison 気動式骨パンチ
承認番号:13B1X00218151007 販売名:KAIRison ディスポーザブル
チューブ

製造販売元 **ビー・ブラウンエースクラップ株式会社**

本 社:〒113-0033 東京都文京区本郷2-38-16
カスタマーサービスセンター:☎0120-401-741 (フリーダイヤル)
www.bbraun.jp

本カタログ掲載製品の業事取得番号及び販売名は、製品付属の添付文書をご参照ください。
製品のご使用にあたっては、製品に付属の添付文書を必ずお読みください。

本カタログ掲載品の仕様・形状は、改良等の理由により予告なしに変更することがあります。

AJ-C24302-02 09.09.2000H